

様式第3号（第13条関係）

会議録

会議の名称	令和7年度第3回朝霞市上下水道審議会	
開催日時	令和7年7月25日（金） 午後1時30分から午後3時00分まで	
開催場所	朝霞市水道庁舎 4階会議室	
出席者の職・氏名	委員11人（前田会長、時枝副会長、宮林委員、獅子倉委員、黒川委員、佐藤委員、孫委員、島崎委員、市川委員、池田委員、小川委員） 事務局14人（益田上下水道部長、久保田上下水道部次長兼水道施設課長、大塚上下水道総務課長、七里下水道施設課長、吉田上下水道総務課長補佐、中村水道施設課長補佐、近藤上下水道総務課会計庶務係長、渡辺水道施設課水道工務係長、西村水道施設課水道管理係長、菅下水道施設課下水道工務係長、山口上下水道総務課会計庶務係主任、牧野上下水道総務課経営係主事、後藤上下水道総務課経営係主事、今牧上下水道総務課経営係主事補）	
欠席者の職・氏名	委員2人（谷委員、野島委員）	
議題	1 議事 （1）下水道使用料の改定（案）について （2）その他	
会議資料	・会議次第 ・【資料1】下水道使用料の改定（案）について ・下水道パネル展を開催します（フライヤー） ・席次表	
会議録の作成方針	☐ 電磁的記録から文書に書き起こした全文記録	
	☒ 電磁的記録から文書に書き起こした要点記録	
	☐ 要点記録	
	☐ 電磁的記録での保管（保存年限 年）	
	電磁的記録から文書に書き起こした場合の当該電磁的記録の保存期間	☒ 会議録の確認後消去 ☐ 会議録の確認後 か月
	会議録の確認方法 委員全員による確認	
傍聴者の数	0人	
その他の必要事項		

審議内容（発言者、発言内容、審議経過、結論等）

開会

会長挨拶

上下水道部長挨拶

議題（１）①シミュレーションの考え方
②シミュレーション【ケース１】
③シミュレーション【ケース２】

（吉田上下水道総務課長補佐）

下水道使用料の改定（案）のシミュレーションの考え方について説明後、シミュレーション【ケース１】、【ケース２】について説明。

委員から意見・質問

（委員）

資料８ページの表の見方が分からない。改定後の０立方メートルから１０立方メートルまでの７００円は基本料金として考えればいいのか。例えば、２０立方メートル使った場合はいくらになるのか。

（吉田上下水道総務課長補佐）

基本料金に近いもので、２０立方メートルの場合、０立方メートルから１０立方メートルまでの７００円に、残りの１０立方メートルに使用料の７５円を掛けた７５０円を加え、１，４５０円となる。

（委員）

市内でも水をたくさん使う事業者がいるが、上水道を買わず、井戸水を汲み上げて、下水道に流している方もいる。そうすると上水道の方で厳しい料金体系をとるべきなのか、下水道の方で厳しい料金体系をとるべきなのか、考えどころではないかと思う。大規模事業所にできるだけ上水道を使ってもらうためにどうするかを考えた方がいいのではないか。

（吉田上下水道総務課長補佐）

井戸水を使っているところは１０件ほどになる。そのうち大企業は数件で件数が少ないので、影響も少ない。もう少し件数が多ければ考えるべきであると思う。

（大塚上下水道総務課長）

資料４ページにも載せているが、２００立方メートル以上の料金を見ると、他市は朝霞市に比べて倍以上の料金を取っている。そのことを考えれば、大口の料金体系についても今後検討しなければならない。

しかし、大口ばかりに頼っていると、実際に企業がなくなった際に収入も上がらなくなることも考えなければならないので、そのバランスをどう取るのか考えていき

たい。

(会長)

今回の会議では、【ケース１】か【ケース２】のどちらで進めるか、方向性を決めていただきたく、委員の皆さんに御意見をお聞きしたい。

(委員)

【ケース２】の方向性がいいのではないと思うが、【ケース２－②】の基本料金が５４０円とかなり抑えられている点が気になる。将来的に少世帯が増えていく傾向になり、下水道を使う家庭が減って、収入源自体が減ってしまう中で、もう少し基本料金を上げて、従量制の部分の料金の上がり方をなだらかにする方が安定した収入が得られるのではないと思う。

(吉田上下水道総務課長補佐)

おっしゃるとおりで、近い将来人口が減っていく中で、どんどん使用料が減っていく一方なので、基本料金である程度収入を確保するべきであると思う。

(委員)

料金が上がることで本当に困るのは、３人から５人家族など３１立方メートルから６０立方メートルほど使っている家だと思う。【ケース２】の方向性で、基本料金を１,０００円くらいとって、その代わり従量区分の料金を低く設定することで、３１立方メートルから６０立方メートルほど使う家庭の負担が軽くなるのではないかな。

(委員)

国が基本料金を設定する【ケース２】を推している中、皆さんの意見を聞いていても、【ケース１】を推す意見があまりないので、国の方針に逆らってまで【ケース１】にする必要はないと思う。

(委員)

先ほど市内で大きい企業が３４件しかないと聞いたが、大きい企業は排水量が相当ある。その単価を上げると結構な収入になると思うので、そのウェイトを上げた方がいいと思う。また、料金については段階的に上げる方が負担も少ないと思う。

(委員)

値上げが必要と言っている中で、【ケース１－①】の１０立方メートル以下のような、値下げをする枠はいらないと思う。今の金額より安くするというのは料金改定のスタート地点から逆のことをしているように思う。また、二つのケースがあるが、基本料金を設定していない近隣の自治体の例なども参考にして、朝霞市も方針を決めるといいと思う。

下水道の維持のためにも、みんなで負担するという考え方はしっかり認識してもらうことも大事ではないか。

(委員)

今まで料金改定はなかったが、今後どのくらいのスパンで料金の改定をするのか。

(吉田上下水道総務課長補佐)

スパンとしては計画で5年と決めている。5年ごとに料金の見直しはするが、その時に資金が足りているのであれば、料金はそのままだし、不足しているのであれば料金を再度改定することになる。

(益田上下水道部長)

地方公営企業であるので、営利を目的としている組織ではない。事業を適切に運営していくために料金の改定を考えていかなければならない。物価も上がり下がりがあるので、大体5年ごとに料金を見直すことが必要と考えている。

(会長)

基本料金を設定することで、何かが起こった時の維持管理費に充てられると思う。また、13億5,000万円の収入がないと適切な運営ができないが、13億5,000万円以上は見込まなくていいのだから、どの程度の基本料金や従量制で事足りるのか次回の審議会で示してほしい。

皆さんの意見からも、基本料金を設定した【ケース2】の方向性で決めていきたいので、次回の審議会でシミュレーションのパターンを提示してほしい。

(委員)

料金改定の際、何パーセント引き上げになったか、数字をきちんと作っておいた方がいい。

(吉田上下水道総務課長補佐)

今回は従量区分から細かく設定しているので、現行の料金との比較が難しいかもしれないが、なるべく分かりやすい形で数字を作ろうと思う。

議題(2) その他

(今牧上下水道総務課経営係主事補)

下水道パネル展開催日時と、次回以降の審議会の日程について連絡。

(委員)

先般の水道管の事故について報告してほしい。

(久保田上下水道部次長兼水道施設課長)

水道管の漏水事故について説明。

(益田上下水道部長)

補足になるが、事故があった場所は県道でアスファルトが厚いので、やり替えるとなるとかなり大規模な工事になり、県との調整もしなければならない。古い管なので、今年度中にも入れ替えの工事をしたいと考えている。

漏水自体もマスコミでよく取り上げられている噴水のようなものではなかったが、事故付近を通った人たちに動画を撮られ、大げさな表現でSNSにて拡散されてしまった。その際、市の方でもこまめに写真付きでホームページを通じて報告することで、風評被害を防いだ。

(委員)

古い管だということだったが、管の年代や種類を教えてほしい。

(久保田上下水道部次長兼水道施設課長)

管自体は昭和42年のもので、管の種類については分からない。

閉会